

こうじ  
工事の  
げんば  
現場より

# 旧矢筈原家住宅 保存修理事業

白川郷の職人さんが来たよ！

5月3週目

語り現場から  
文化力  
POWER OF CULTURE



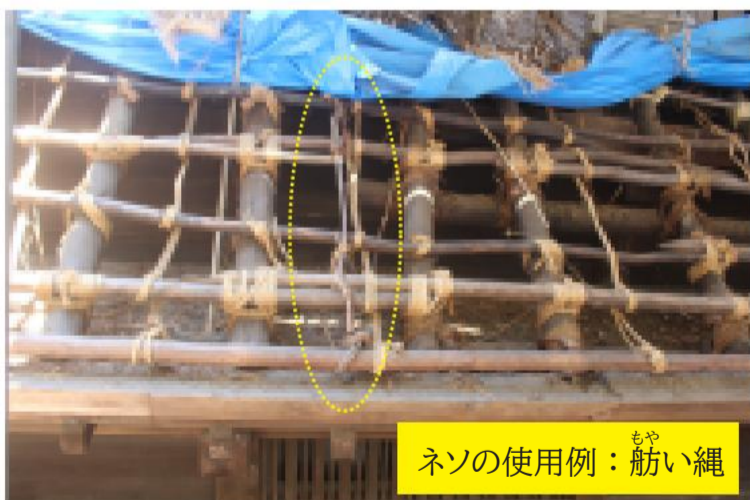
白川郷の職人さんによる指導を熱心に聞き入る茅葺職人たち。実際の施工に携わる職人は茅葺のプロですが、普段はそれぞれが違う施工方法で茅葺屋根をつくっています。今回は白川郷の仕様で葺くため研鑽が必要です。

白川郷の職人さんには、今回葺く屋根の特徴的な仕様について具体的に確認・指導をしていただきました。なかでも特徴的な素材である「マンサク」を使って「ネソ」を作る過程（「ネソ練り」という作業）については、実際に材料を加工する手法からご指導いただきました。合掌造りのふるさとである白川郷や五箇山では、寒冷地であることや稲作に適した土地が少ないことから、かつては稲の生産が少なく、藁縄を潤沢には用意できませんでした。そのため藁縄代わりに結束材として、山に生える「マンサク」のしなやかな生木を、折らずに繊維をほぐし、縄のような柔軟性のある材料＝「ネソ」として使えるようにする技術が生み出されたのです。屋根の骨組みを縛る材料としてのほか、しなやかに曲がる特性を生かし、隅の部分の押さえ木（ヌイボク）としても使うなど、様々な活用方法があります。

ネソの使用例：小屋組の結束材



ネソの使用例：舳い縄



ネソの使用例：隅部屋中



マンサクの枝を練ってネソを作る「ネソ練り」の実演



練って作った「ネソ」を使っての結束作業の指導

